



## 鈴木鎮一氏の教え学ぶ 安原地区人権啓発推進協議会



バイオリンを演奏する  
旭町小の鏡味校長 (左)

安原地区人権啓発推進講座が昨年12月9日、安原地区公民館で開催され、地域の人たち約100人が参加しました。安原地区人権啓発推進協議会(保科守宏会長)と、町内公民館館長会(小山俊樹会長)が共催しました。

## 心の成長願うハーモニ



鈴木さんと才能教育について講演する結城館長



子どもたちの演奏にお礼を述べる  
百瀬町会連合会副会長

第一部は鈴木鎮一記念館館長の結城賢二郎さんが「鈴木鎮一氏の歩み」と題して講演しました。鈴木氏は明治31年、名古屋でバイオリン工場を営む家の四男として生まれました。17歳の時、工場にあった貴重な英文タイプライターを触っているのを注意され、とっさに「まねをしているだけ」とごまかしました。

このことに気がとがめていた時、本屋で『トルストイの日記』に出会いました。「自分を欺くことは他人を欺くこと」と気づき、禅などの宗教



講演に耳を傾ける安原地区の住民たち

書を読みあさりました。このころの思索が、のちの才能教育の起点となりました。鈴木氏は純真な子どもの心は環境そのままに成長するのでは、と考え「どの子も育つ。人は環境の子なり」と捉え直しました。スズキメソッドの確立とバイオリン指導の世界展開など実績を残されました。第二部では、スズキメソ

# お蚕さまと遊ぼう

郷土の昆虫文化に親しんで  
もらおうという「お蚕さまと  
遊ぼう」が、昨年10月29日に  
安原地区公民館で開かれ、地  
元の小学生と保護者など約20  
人が参加しました。

松本県ケ丘高校と松商学園  
高校の生徒の協力による企画  
でした。県ケ丘高の生徒は政  
府の「地方創生・政策アイデ  
アコンテスト」で、昆虫食を  
サプリメントとして加工販売

するプランを提案して最優秀  
賞を受賞。松商高の生徒はそ  
のアイデアを生かして「信州  
味噌いなご煎餅」を商品とし  
て開発しました。

参加者は蜂の子やイナゴの  
写真を見たり、蚕の一生の説  
明を受けたりしたあと、繭玉  
を使った工作をしました。両  
高生徒の手ほどきで小さな手  
を懸命に動かし、クマやウサ  
ギ、ハロウィーンにちなんだ

カボチャやお化けをつくりま  
した。

蚕の幼虫に触れ、えさの桑  
の葉を与える体験のほか、佃  
煮にしたサナギやカイコを試  
食する子どもたちもいました。

生徒の1人は「繭は糸にな  
り、布やせっけん、化粧水に  
もなる。虫とともにあった信  
州の昆虫文化を伝えていき  
たい」と語り、滝澤澄夫館長は  
「地域の若者の取り組みを支  
援することで、次世代交流に  
つながればいい」と話してい



蚕の幼虫に触れる子どもたち

## いちよう並木

フリムラ・西洋サクラソウを楽しむ  
一口にフリムラといつて  
も、フリムラ属は原種で約  
300種、交配種を合わせる  
と500種以上を含むサクラ  
ソウ科の植物です。

日本にも日本サクラソウや  
クリンソウをはじめ約20種が  
自生しています。これら日本  
原産の種に対し、外国原産の  
グループを総称して西洋サク  
ラソウと呼んでいます。フリ  
ムラとは春一番を表す意味が  
あります。

各種とも花の色が豊富で春  
を告げる素朴な花です。フリ  
ムラジュリアン・プリムラポ  
リアンサ・プリムラマラコイ  
デス・プリムラオブコニカ・  
プリムラサイネリアなどは手  
軽に入手できます。

冬から春にかけての鉢花の  
中で、プリムラ属ほど  
春の気配を感じさせる  
花はありません。

明るい陽光を好む花  
として知られています。  
1日4時間くらい日光  
に当て、0℃以下にな  
らない無暖房の部屋で  
管理すると、長く楽し  
むことができます。

## 安原地区公民館 信大キャンパス 探検隊③

### 医学部附属病院ドクター ヘリを探る(上)

昨年末、探検隊はドクター  
ヘリを取材しました。説明と  
案内は、ドク

ターヘリで実際  
に救命搬送に活  
躍している救急  
集中治療医学所  
属の高山浩史  
准教授です。

信州ドクター  
ヘリは、平成17  
年7月に佐久総



合病院を基地病院に1機目の  
運航が始まりました。平成23  
年10月から松本の信州大学附  
属病院が2番目の基地病院に  
選定され、長野県内を2機体  
制の運用が始まりました。2  
機は、佐久のヘリが東北信を、  
松本のヘリは中南信を担当に  
し、長野県内全域を相互にか

り松本通信室で話を聞きまし  
た。同通信室は  
ヘリの運航を統  
括する管制塔で  
す。

通信室には、  
ヘリの運航業  
務を担当する中  
日本航空の専門  
員が常駐してい  
ます。県内各地

から来る出発要請を受け、離  
着陸の指令と調整が行われま  
す。室内には屋上のヘリポー  
トの映像監視モニターがあり  
ます。

この日はモニターで帰還が  
確認されたヘリが、5分後に  
は新たな救急搬送の患者のも  
とへと離陸しました。



マラコイデスとジュリアン(手前)